

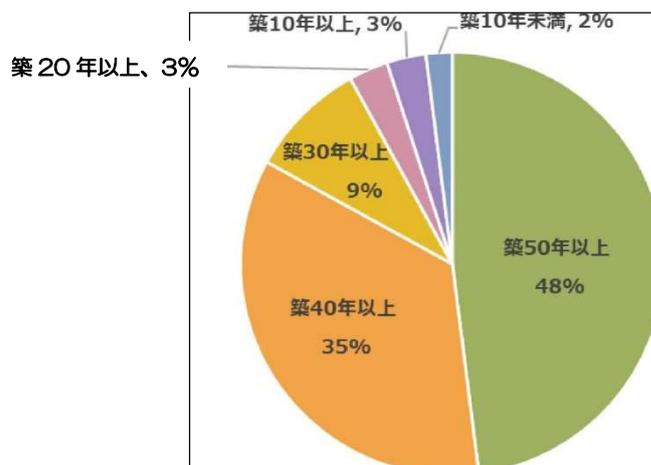
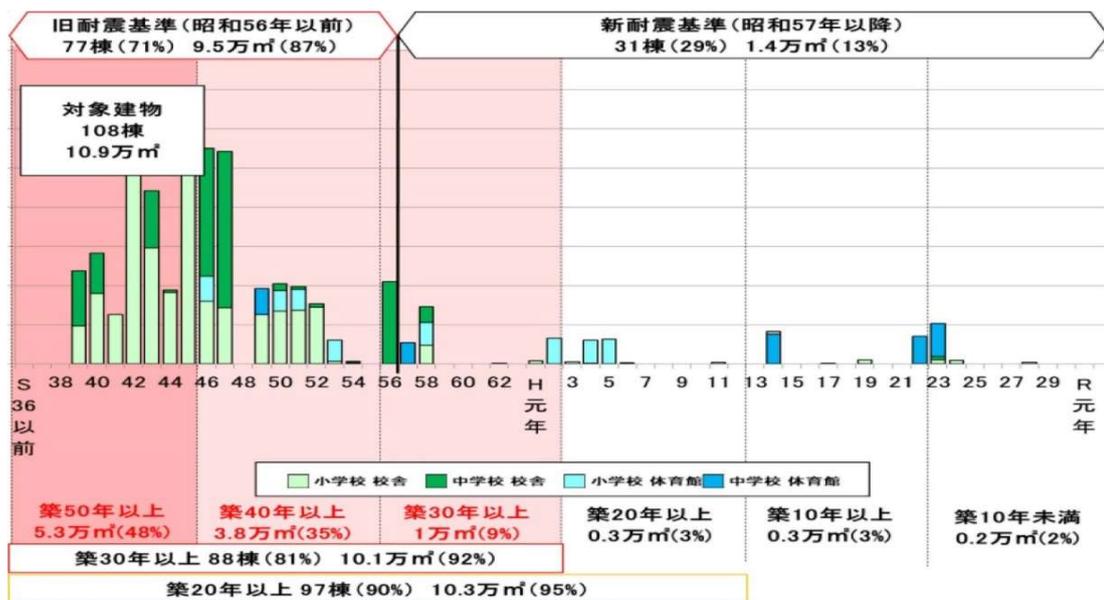
学校施設の長寿命化及び再配置の検討について

1. 学校施設の現状について【江南市学校長寿命化計画より】

学校施設の老朽化状況

築50年以上の建物は面積ベースで全体の約48%、築40年以上50年未満の建物は面積ベースで全体の約35%となっています。また、旧耐震基準（昭和56年（1981年）以前建築）の建物は全体の約87%を占めています。なお、旧耐震基準の建物についても、耐震診断後、耐震補強工事を実施しておりますことから安全性は確保されています。

また、令和2年度に一部の校舎で実施したコンクリート躯体の圧縮強度試験の結果から、築50年以上の校舎においても、コンクリート躯体自体の強度・健全性は保たれていることが推察できます。

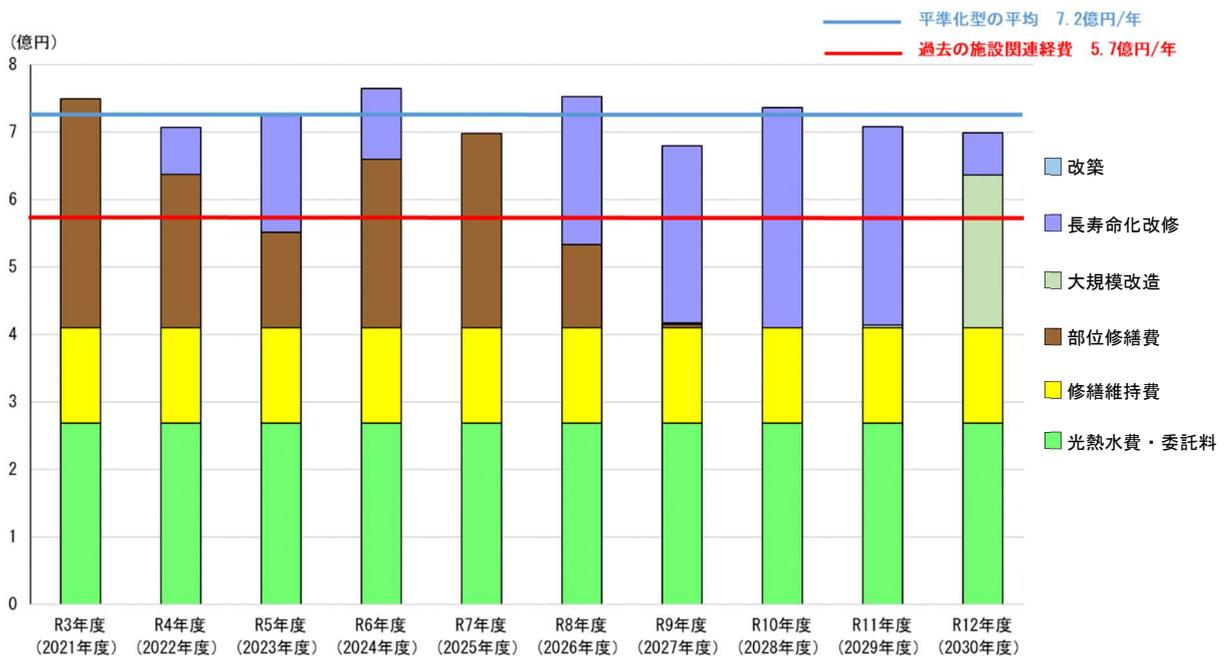


小中学校の校舎は築 41 年～60 年となっており、劣化状況に応じて築 20～30 年目を目途に 1 回目の大規模改造工事が実施されております。

しかしながら、平成 26～27 年度に実施した門弟山小学校の大規模改造工事を最後に、校舎の大規模改造工事は実施されておらず、1 回目の大規模改造工事から 30 年以上経過した学校が複数ある状況となっており、早急な改修スケジュールの策定が必要となります。

特に校舎の外壁については、塗装下地としてモルタルの厚塗りがされており、劣化による落下の危険性があり、このことは、全国的な問題となっています。令和 3 年 3 月の長寿命化計画策定時点では、目視のみによる調査を行っており、目視では確認できないモルタル浮きの打診調査及び調査結果に応じた改修スケジュールへの反映が必要となります。

今後 10 年間の実施計画「平準化型」(江南市学校長寿命化計画)

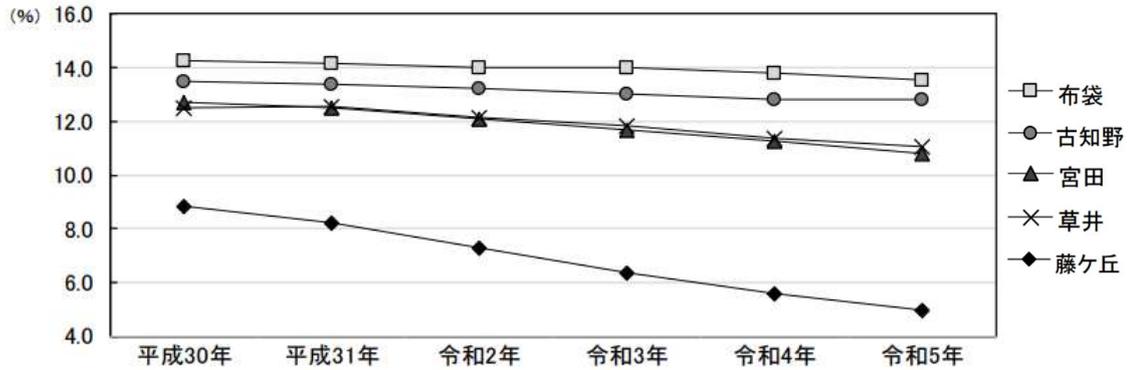


2. 児童生徒数推移

児童生徒数は、昭和 50 年から 60 年代をピークに減少に転じています。



(参考) 地区別年少人口割合の推移 【江南市地域福祉計画より】

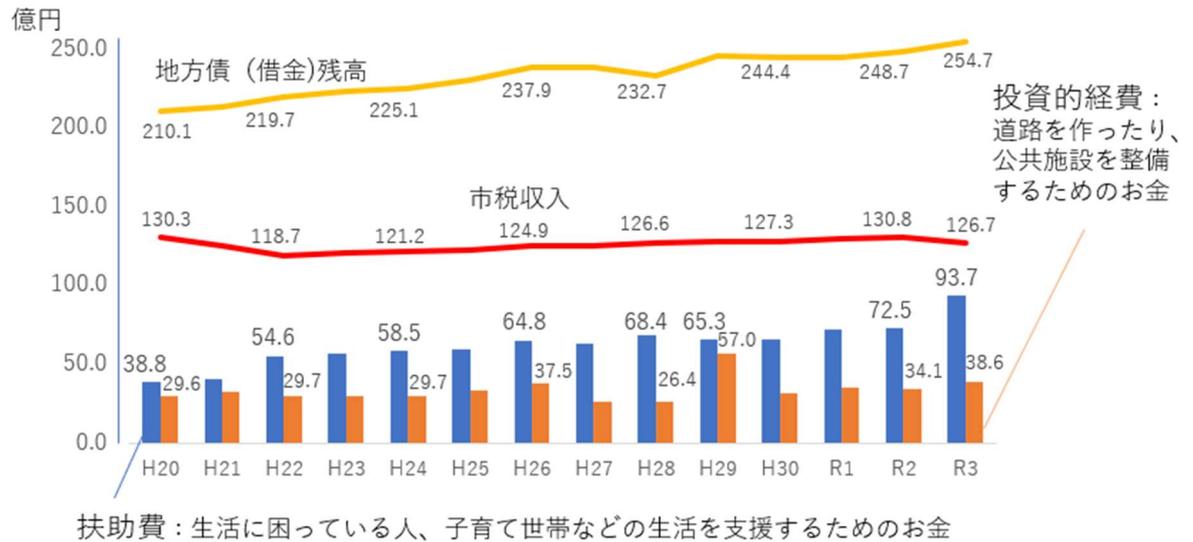


※年少人口：0歳から14歳までの人口

資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

3. 公共施設問題

(1) 江南市の財政状況



(2) 今後の更新費用と財源の見込み【江南市公共施設等総合管理計画より】

令和37年度までの更新費用と充当可能な財源の見込み

種別	更新費用の見込 (試算結果)	充当可能な財源の見込	不足額(充足率)
公共施設	711.2億円 (19.2億円/年)	451.4億円 (12.2億円/年)	▲259.8億円(63%) (▲7.0億円/年)
インフラ施設※	285.1億円 (7.7億円/年)	240.5億円 (6.5億円/年)	▲44.6億円(84%) (▲1.2億円/年)
合計	996.3億円 (26.9億円/年)	691.9億円 (18.7億円/年)	▲304.4億円(69%) (▲8.2億円/年)

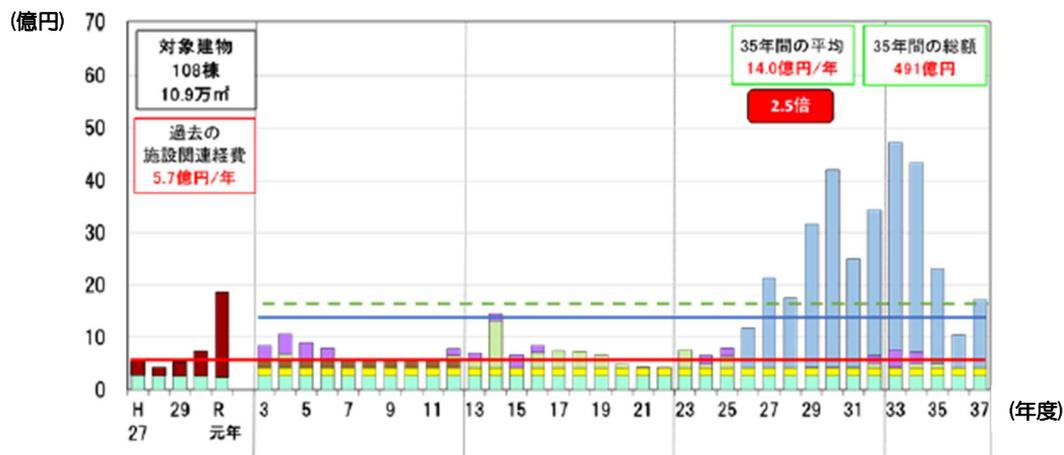
※上水道、下水道は含まず

現在の施設を全て同じ規模のまま維持、更新していくためには約304.4億円財源が不足

⇒ **今の規模のまま全てを維持していくことは不可能**

(3) 学校施設の今後の維持・更新コスト【江南市学校長寿命化計画より】

公共施設全体の更新費用の見込 711.2 億円のうち学校の更新費用は約 491 億円です。1 年あたりにすると約 14 億円/年となり、過去の学校施設関連経費約 5.7 億円/年と比較しても、約 2.5 倍となっています。



(参考) 令和4年度 学校の維持運営コスト 【公共施設カルテ (R4 決算) より】

○児童・生徒1人当たり市民負担額 単位:千円・人

順位	施設名	市費 (一般財源)	利用者	児童・生徒 1人当たり
1	藤里小学校	32,441.90	189	171.65
2	西部中学校	26,664.36	292	91.21
3	宮田中学校	37,173.58	460	80.87
4	古知野西小学校	27,893.26	361	77.20
5	草井小学校	28,850.69	395	73.10
6	宮田小学校	35,277.60	513	68.77
7	北部中学校	30,575.83	460	66.47
8	布袋北小学校	27,268.44	417	65.44
9	布袋中学校	37,930.55	610	62.15
10	古知野北小学校	28,420.74	473	60.13
11	門弟山小学校	26,820.37	483	55.53
12	古知野中学校	39,523.43	832	47.52
13	布袋小学校	36,941.70	816	45.27
14	古知野南小学校	34,611.57	802	43.17
15	古知野東小学校	31,894.95	798	39.95

4. 今後の取組

人口減少が進む中、現状のまま公共施設を維持することは困難です。道路、水道、下水道などインフラ施設については縮小させていくのは容易ではないですが、公共施設は、新規施設の抑制や複合化、減築などを検討していく必要があります。

江南市学校長寿命化計画では、当面の間は学校施設の配置は維持するものとしていますが、江南市を持続的に運営していくためには、学校を含めた公共施設の再配置は避けては通れず、喫緊の課題となっています。

他市においても小中学校の統廃合や小中一貫教育校の導入など学校の再配置には、保護者や学校関係者、地域住民との情報共有や意見交換など実現に向けたプロセスが長期に渡り、慎重に進められております。当市においても 20 年、30 年先の将来の江南市、子どもたちのことを考えて、適切な施策を今から講じていくことが必要となっています。